

鯖江市地域公共交通利便増進実施計画 (案)

令和3年12月

鯖江市

目 次

1. 計画概要と関連計画の整理	1
(1) 計画の目的	1
(2) 計画の位置づけ	1
(3) 計画の区域と期間	1
(4) 「鯖江市地域公共交通再編実施計画」の事業実績	2
(5) 地域公共交通の問題・課題	3
(6) 「鯖江市地域公共交通計画」の概要	4
(7) 地域公共交通計画と利便増進実施計画の関連	10
2. 事業の内容・実施主体	11
(1) 路線の再編	11
(2) 運行回数、運行時刻の変更	21
(3) その他の事業	22
3. 利便増進事業に関連して実施する事業	23
4. 地方公共団体による支援の内容	24
5. 実施予定期間	25
6. 事業実施に必要な資金の額・調達方法	27
7. 事業の効果	28
(1) 路線の再編	28
(2) 運行回数、運行時刻の変更	28
(3) その他の事業	29
8. 都市機能の増進に必要な立地の適正化等に関する施策	31
9. その他利便増進事業の運営に重大な関係を有する事項	31

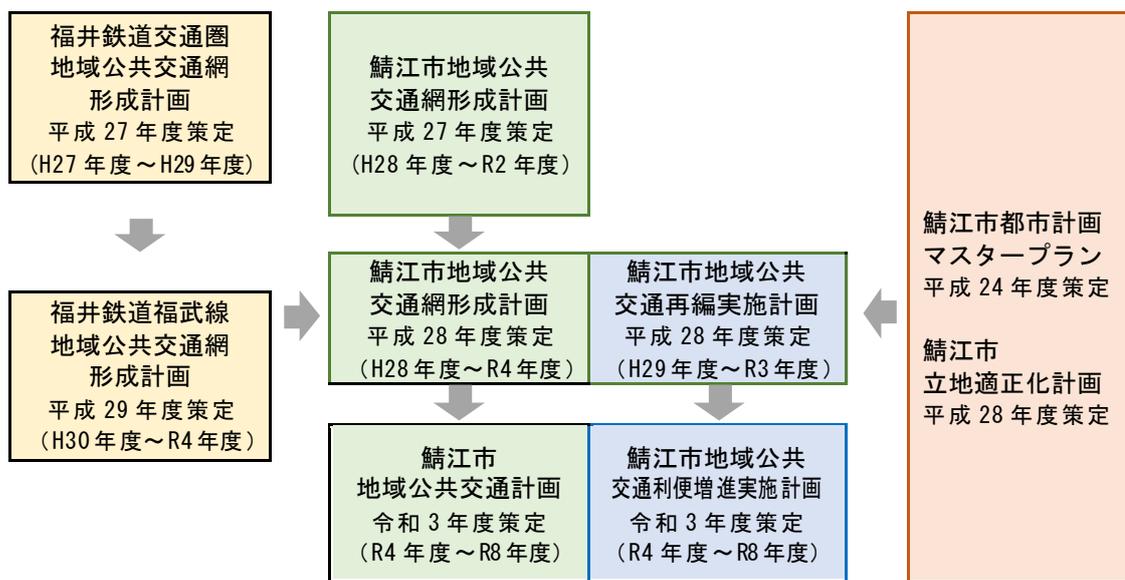
1. 計画概要と関連計画の整理

(1) 計画の目的

本計画は、鯖江市が「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」を根拠法令として、市民をはじめ本市への来訪者が日常生活や観光、ビジネスにおいて、公共交通を利用することで必要な移動を行うことができる交通環境の実現に向けて、地域公共交通のマスタープランとして策定する「鯖江市地域公共交通計画」に基づき、具体的な事業を定めるものです。

(2) 計画の位置づけ

本計画は、「鯖江市地域公共交通計画」の実施計画とします。



■ 計画策定の経緯

(3) 計画の区域と期間

計画区域	鯖江市全域
------	-------

本計画の計画区域は、本市全域とします。

さらに、市民の日常の生活行動が市域を越えて広範囲に広がっているため、特に、福井市、越前市、越前町の隣接市町との積極的な連携により、市民の日常生活を支える公共交通環境の向上を目指します。

計画期間	5 年間（令和 4 年度～令和 8 年度）
------	-----------------------

本計画の計画期間は、令和 4 年度から令和 8 年度までの 5 年間とします。

ただし、毎年度に実施する本計画の達成状況の評価に基づく計画の見直しを行うとともに、社会情勢や法制度等の変化に対応するための見直しを適宜行うものとします。

(4) 「鯖江市地域公共交通網再編実施計画」の事業実績

① 実施事業

平成 28 年度に策定した「鯖江市地域公共交通再編実施計画」では、以下の 2 つの事業を位置づけ、事業を実施してきました。

実施事業	実施主体	実施スケジュール
幹線交通の一部再編・運行 (福鉄バス 鯖浦線、南越線)	福井鉄道(株)	平成 29 年度：再編・運行 平成 29 年度～令和 3 年度：運行
つつじバスの再編・運行	鯖江市、つつじバス運行事業者	平成 29 年度：再編・運行 平成 29 年度～令和 3 年度：運行

② 実施事業の内容と効果

路線名	事業内容	事業の効果					
		乗車密度			収支率		
		実施前	改善	実施後	実施前	改善	実施後
福鉄バス	鯖浦線	J R 北鯖江駅 延伸 (隣接都市間の連携強化)	人/km 3.06		人/km 2.66	% 44.6	% 32.9
	南越線	北中山公民館 延伸 (隣接都市間の連携強化)	R2.10～南越線規模縮小により、赤坂～北中山公民館区間は廃止				

※実施前：平成 27 年 10 月～平成 28 年 9 月 実施後：平成 30 年 10 月～令和元年 9 月

路線名	事業内容	事業の効果					
		一便当たり利用者数			利用者一人当たり運行コスト		
		実施前	改善	実施後	実施前	改善	実施後
つつじバス	幹線 (通学便)	通学時間帯の鉄道駅接続 (高校通学利便性向上)	人/便		人/便 5.99	円/人	円/人 193.7
	幹線 (昼間便)	主要乗継拠点、地区公民館の連絡 (市内移動の利便性・速達性向上)			9.36		736.0
	循環線	ルート変更、バス停の追加・廃止 (生活関連施設の利便性向上)	7.33		7.24	144.2	185.5
	鯖江南・ 新横江線	路線統合、バス停の追加・廃止 (公共交通の機能強化)	1.62	○	3.08	590.6	○ 540.6
	神明線	ルート変更、バス停の追加・廃止 (公共交通の機能強化)	5.47		5.08	254.9	324.9
	片上・ 北中山線	ルート変更、バス停の追加 (公共交通の機能強化)	5.83		4.94	457.5	608.3
	立待線	ルート変更 (公共交通の機能強化)	7.02		5.27	225.4	301.7
	吉川線	変更なし	7.23		6.22	241.8	312.1
	豊線	ルート変更、バス停の追加 (公共交通の機能強化)	7.44		6.81	256.4	316.8
	中河・ 北中山線	ルート変更、バス停の追加・廃止 (公共交通の機能強化)	5.61		3.90	494.5	975.8
河和田線	ルート変更、バス停の廃止 (公共交通の機能強化)	15.49		13.32	211.0	291.4	

※実施前：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月 実施後：平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月

※コロナウイルス感染症の影響により、再編後の実績は平成 30 年度のものを記載

(5) 地域公共交通の問題・課題

社会潮流への対応

- ・新型コロナウイルス感染症拡大による公共交通利用者減少、新しい生活様式への対応
- ・持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた環境負荷の軽減
- ・大規模災害への対応

人口・都市構造

- ・北陸新幹線敦賀開業時における幹線交通網の変化への対応
- ・人口減少、少子高齢化、郊外部の人口増加の進行に伴う公共交通利用者ニーズへの対応
- ・過度な車依存の交通環境の是正
- ・商業施設等の郊外立地による市街地中心部のにぎわいの低下への対応

市民生活

- ・市内の東西移動における速達性向上への対応
- ・通学交通におけるバス交通ニーズへの対応
- ・公共交通相互の乗継利便性の改善
- ・公共交通需要の季節や天候による変動への対応

観光振興

- ・観光面における公共交通の活用

利用環境

- ・公共交通の待合環境の改善
- ・運行経路や運行時刻等の基本情報の分かりやすい情報提供

運行体制

- ・効率的で柔軟性のある運行体制の確立
- ・安定的な運営財源の確保

市民協働

- ・地域の公共交通サービスの維持に向けた公共交通の利用促進

(6) 「鯖江市地域公共交通計画」の概要

① 持続可能な地域公共交通に関する基本的な方針

- | |
|---------------------------|
| ①コンパクトで魅力あるまちづくりと連携した公共交通 |
| ②人々の生活を支える公共交通 |
| ③協働により地域に存続する市民主役の公共交通 |

② 地域公共交通計画の目標

地域公共交通の 将来像	豊かさと安心のある暮らしを支える交通環境
----------------	----------------------

本市では、車がなくても、鉄道や路線バスなどの公共交通を利用して、日常生活に必要な移動ができる交通環境を目指します。

新しい利用者層を開拓し、積極的な利用を促進するとともに、既存の利用者ニーズに対応する運行により、「豊かさと安心のある暮らしを支える交通環境」を形成します。

③ 地域公共交通の計画目標

目指すべき将来像の実現に向けて4つの目標を設定し、それぞれについて目安となる指標と目標値を設定するとともに、実施すべき具体的な施策、事業を設定します。

目標 1	多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現
------	----------------------

- ・幹線交通と二次交通網のネットワーク化に向けた福鉄バス、つつじバスの運行経路、時間帯の見直しなどにより、速達性の向上、日常の生活交通に対応する公共交通の実現を目指します。

指 標	現況値	目標値
つつじバス年間利用者数	14.4万人（平成30年度）	17万人（令和8年度）
福井鉄道福武線市内駅利用者数	47.4万人（平成30年度）	50万人（令和8年度）
利用者一人当たり公的資金投入額	552円/人（平成30年度）	540円/人（令和8年度）

目標 2	まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現
------	-----------------------------

- ・主要乗継拠点をはじめ主要な駅やバス停での待合環境の整備などの施策により、人口や都市機能の集積を図るための施策と一体的な公共交通の利用環境の向上を図り、まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現を目指します。

指 標	現況値	目標値
公共交通が充実していると感じている人の割合	58.7%（令和元年度）	80%（令和8年度）
公共交通集落カバー率	95%（令和3年度）	97%（令和8年度）

目標 3	観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、鯖江の魅力を高める公共交通の実現
------	-------------------------------------

- ・はじめて利用する観光・ビジネス客でも気軽に利用できる環境づくりとして、運行経路や運行時刻などの基本情報の分かりやすい提供やレンタサイクル、観光案内、観光コースの整備などにより、観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、本市の魅力を高める公共交通の実現を目指します。

指 標	現況値	目標値
つつじバスポータルサイト (バスどこサービス) アクセス数	15.7万回（平成30年度）	16万回（令和8年度）

目標 4	市民との協働により、使いやすさを高め、にぎわいを支える公共交通の実現
------	------------------------------------

- ・市民による公共交通の利用促進に向けた意識啓発や支援団体の連携、市民等との協働により、使いやすさを高め、にぎわいを支える公共交通の実現を目指します。

指 標	現況値	目標値
公共交通利用促進のための市民団体の活動回数	12回（平成30年度）	15回（令和8年度）

④ 地域公共交通計画に位置づける施策の実施主体と実施スケジュール

本計画に位置づける施策およびその実施主体は、下表に示すとおりです。

目標 1	多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現	
	実施事業	実施主体
(1)	幹線交通の運行 (JR北陸本線(並行在来線)、福井鉄道 福武線、福鉄バス 福浦線、鯖浦線)	JR西日本(株)(福井県並行在来線準備(株))、福井鉄道(株)
(2)	つつじバスの再編・運行	鯖江市、つつじバス運行事業者
(3)	つつじバス車両の更新	鯖江市
(4)	外出支援等のためのタクシーの運行・助成	鯖江市、タクシー事業者
(5)	北陸新幹線へのアクセス手段の検討	鯖江市、越前市、福井県
(6)	多様な輸送資源の活用を検討	鯖江市、交通事業者

目標 2	まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現	
	実施事業	実施主体
(7)	主要バス停の待合環境の整備	鯖江市
(8)	主要乗継拠点でのつつじバス発着情報案内の設置	鯖江市
(9)	運行事業の安定化に向けた企業等の推進	鯖江市
(10)	障がい者、運転免許自主返納者等へのつつじバス利用者無料証の交付	鯖江市
(11)	キャッシュレス決済の導入検討	鯖江市、福井県、JR西日本(株)(福井県並行在来線準備(株))、福井鉄道(株)
(12)	JR鯖江駅東口改札の設置および周辺整備に向けた取り組み	鯖江市、福井県、JR西日本(株)(福井県並行在来線準備(株))
(13)	つつじバスのフリー乗降制の検討	鯖江市、つつじバス運行事業者
(14)	パーク&ライドの利用促進	鯖江市、JR西日本(株)(福井県並行在来線準備(株))、福井鉄道(株)

目標 3	観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、鯖江の魅力を高める公共交通の実現	
	実施事業	実施主体
(15)	つつじバスのリアルタイム位置情報表示 「バスどこサービス」の継続と利用環境の拡充	鯖江市
(16)	レンタサイクルの利用啓発	鯖江市、(一社)鯖江観光協会
(17)	つつじバスの利用料金割引制度 (乗継割引、福井鉄道「プレミア1日フリー乗車券」との乗継割引、回数券)	鯖江市
(18)	つつじバスの利用料金割引制度の拡充(1日フリー乗車券の導入)	鯖江市
(19)	商店街との連携によるつつじバス乗車券の交付	鯖江市
(20)	観光施設等との連携によるつつじバス乗車券の交付	鯖江市
(21)	バス車内への観光パンフレットの設置	鯖江市、福井鉄道(株)、つつじバス運行事業者
(22)	つつじバス車内を利用した観光案内	鯖江市、つつじバス運行事業者
(23)	バス停表示看板のデザイン更新	鯖江市
(24)	SNSを利用した情報発信	鯖江市
(25)	公共交通乗務員の接遇向上	交通事業者

目標 4	市民との協働により、使いやすさを高め、にぎわいを支える公共交通の実現	
	実施事業	実施主体
(26)	公共交通とまちづくりに関する意識啓発と利用促進	市民団体、企業、交通事業者、鯖江市、福井県
(27)	つつじバス利用促進	鯖江市
(28)	自治会によるつつじバス停留所の上屋の設置・管理と行政による支援	地域住民、鯖江市
(29)	公共交通機関としてのタクシーに関する情報発信	鯖江市、タクシー事業者

■バスネットワークの再編

幹線交通と二次交通の公共交通相互の乗り継ぎができる乗継拠点を設置し、福鉄バスによる隣接都市間の連携強化、つつじバス相互の乗継による市域全体への移動サービスの確保、地域公共交通利便増進事業に取り組むことにより、「豊かさや安心のある暮らしを支える交通環境」を目指します。

バスネットワークの再編

乗継拠点の設置

●主要乗継拠点

・幹線交通とつつじバス、およびつつじバス間の乗継拠点として、以下の4箇所を位置づけます。

⇒ J R 鯖江駅、J R 北鯖江駅、福井鉄道神明駅、嚮陽会館（福井鉄道西鯖江駅）

つつじバス路線の再編

循環線

●市街地中央部の生活関連施設の利便性向上

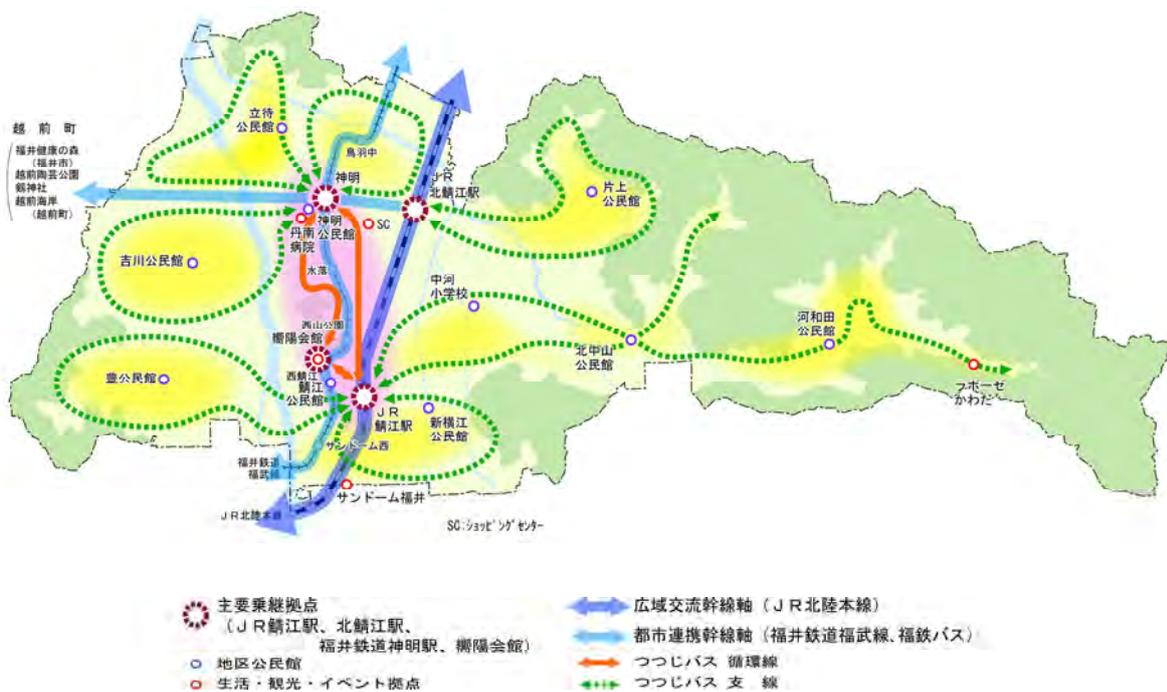
・市街地中央部に集積する生活関連施設を高頻度で循環します。

支線

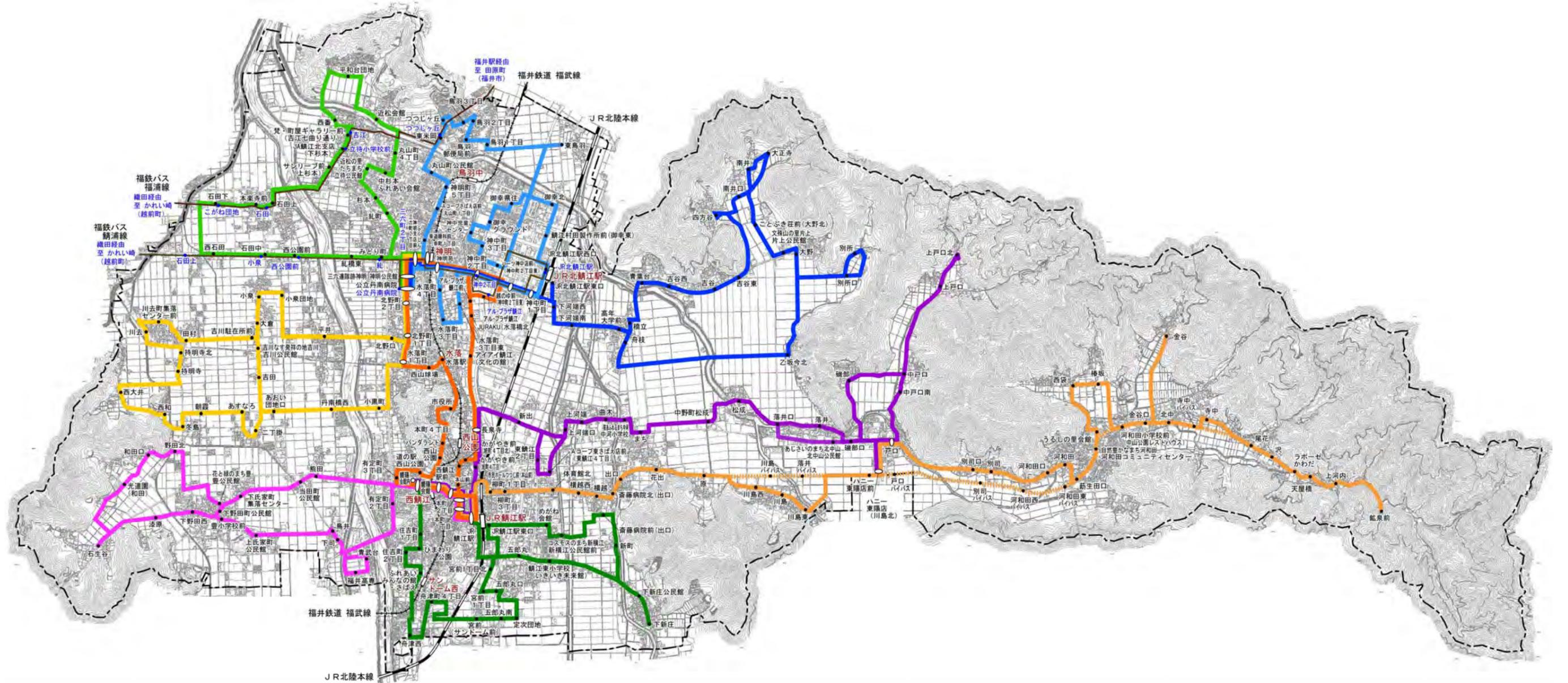
●速達性の向上

●日常の生活交通への対応

・通勤通学や通院、買い物等の移動の利便性を改善するため、ルート効率化による速達性の向上を図ります。



つつじバス再編ネットワーク



<鉄道>

- JR北陸本線
- 福井鉄道福武線

<路線バス 福井鉄道>

- 福浦線
- 鯖浦線

<コミュニティバス つつじバス>

- 循環線
- 吉川線
- 豊線
- 北中山・中河線
- 河和田線
- 神明線
- 片上・中河線
- 立待線
- 鯖江南・新横江線

- つつじバス バス停(単路線)
- つつじバス バス停(複数路線)
- 福鉄バス バス停
- 行政区域

本計画に位置づける施策の実施スケジュールは、下表に示すとおりです。

■ 施策の実施スケジュール

目 標	実 施 事 業	令 和 4年度	令 和 5年度	令 和 6年度	令 和 7年度	令 和 8年度
1. 多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現	(1) 幹線交通の運行 (JR北陸本線(並行在来線)、福井鉄道 福武線、 福鉄バス 鯖浦線、福浦線)					
	(2) つつじバスの再編・運行					
	(3) つつじバス車両の更新					
	(4) 外出支援等のためのタクシーの運行・助成					
	(5) 北陸新幹線へのアクセス手段の検討					
	(6) 多様な輸送資源の活用 の 検討					
2. まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現	(7) 主要バス停の待合環境の整備					
	(8) 主要乗継拠点でのつつじバス発着情報案内の設置					
	(9) 運行事業の安定化に向けた企業広告等の推進					
	(10) 障がい者、運転免許自主返納者等へのつつじバス利用者無料証の交付					
	(11) キャッシュレス決済の導入検討					
	(12) JR鯖江駅東口改札の設置および周辺整備に向けた取り組み					
	(13) つつじバスのフリー乗降制の検討					
	(14) パーク&ライドの利用促進					
3. 観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、鯖江の魅力を高める公共交通の実現	(15) つつじバスのリアルタイム位置情報表示「バスどこサービス」の継続と利用環境の拡充					
	(16) レンタサイクルの利用啓発					
	(17) つつじバスの利用料金割引制度 (乗継割引、福井鉄道「ハッピー1日フリー乗車券」との乗継割引、回数券)					
	(18) つつじバスの利用料金割引制度の拡充 (1日フリー乗車券の導入)					
	(19) 商店街との連携によるつつじバス乗車券の交付					
	(20) 観光施設等との連携によるつつじバス乗車券の交付					
	(21) バス車内への観光パンフレットの設置					
	(22) つつじバス車内を利用した観光案内					
	(23) バス停表示看板のデザイン更新					
	(24) SNSを利用した情報発信					
	(25) 公共交通乗務員の接遇向上					
4. 市民との協働により、使いやすさを高め、にぎわいを支える公共交通の実現	(26) 公共交通とまちづくりに関する意識啓発と利用促進					
	(27) つつじバスの利用促進					
	(28) 自治会によるつつじバス停留所の上屋の設置・管理と行政による支援					
	(29) 公共交通機関としてのタクシーに関する情報発信					

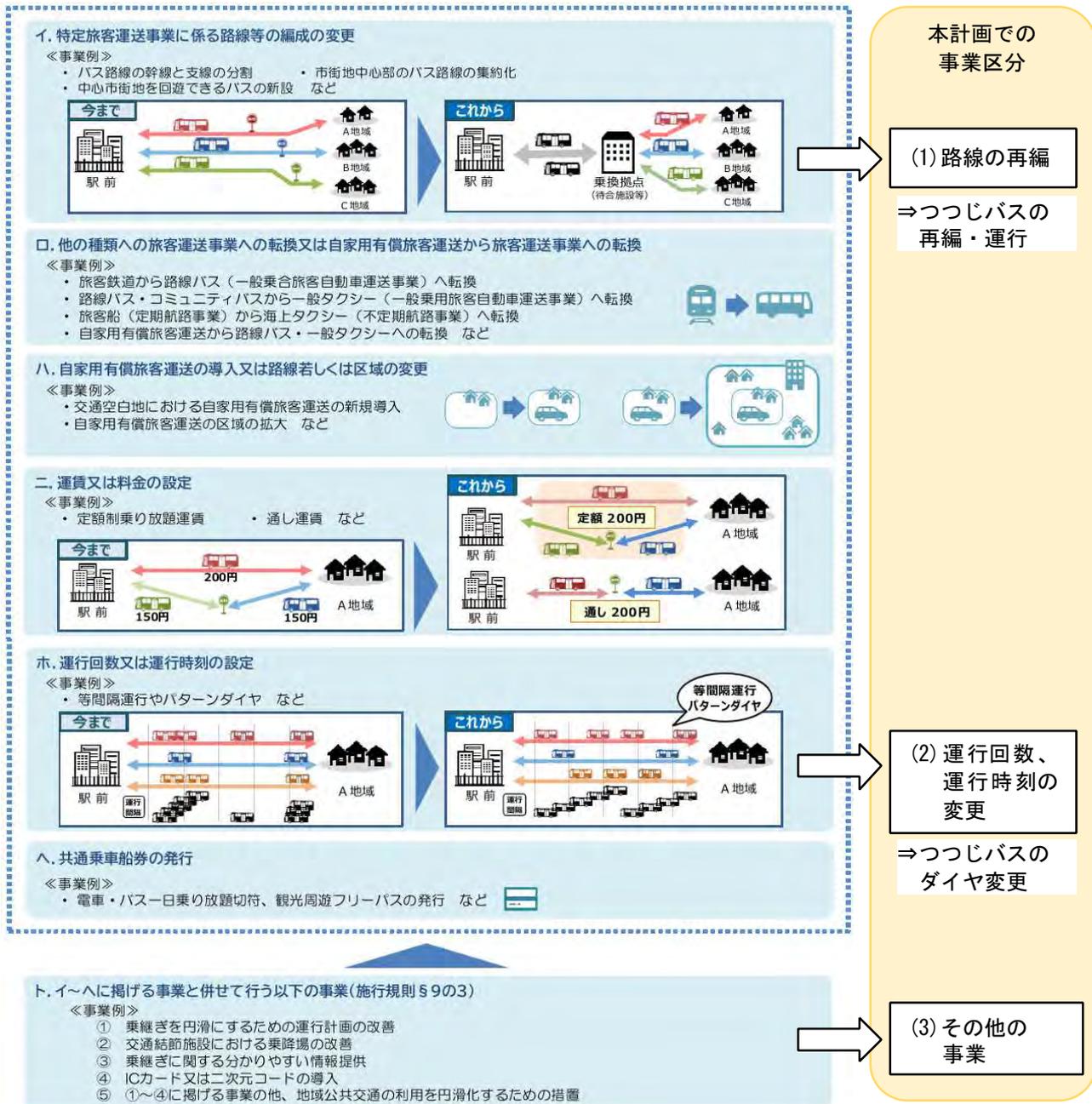
:新規事業
 :継続事業
 :検討・調整中
 :実施

(7) 地域公共交通計画と利便増進実施計画の関連

本計画において定める利便増進事業は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第二十七條の十六「地域公共交通利便増進事業の実施」に基づき、以下の事業が位置づけられている。

また、利便増進事業以外にも、「利便増進事業に関連して実施する事業」を位置づけることが認められている。

なお、本計画での事業区分については、以下の右欄に示す。



※上記イ～トに含まれない関連事業について、「利便増進事業に関連して実施する事業」とする。

2. 事業の内容・実施主体

(1) 路線の再編

■ 路線再編のポイント

- ・平成 29 年 4 月以降の路線別利用実績を踏まえた路線網の効率化・速達性向上
(利用者ニーズの創出が期待できない路線の廃止、隣接地区の連絡ルートの見直し、市民要望の高い土日祝日の増便)
- ・生活関連施設等の都市機能が集積する中心市街地を循環する「循環線」と「支線」各路線の接続性の向上

■ 路線再編に関する対象路線の一覧

利便増進事業のうち、路線の再編に関する対象路線は以下のとおりです。

区 分	路 線 名	内 容	実施主体
①循環線	循環線	ルートの一部変更、 バス停の追加(2)、廃止(1)	鯖江市・ つつじバス 運行事業者
②支線	鯖江南・新横江線	ルートの一部廃止、 バス停の追加(1)、廃止(4)	
	神明線	ルートの一部変更	
	片上・中河線	ルートの一部廃止、 バス停の追加(1)、廃止(9)	
	立待線	変更なし	
	吉川線	ルートの一部廃止、変更、 バス停の追加(6)、廃止(2)	
	豊線	ルートの一部廃止・変更、 バス停の追加(1)、廃止(8)	
	北中山・中河線	ルートの一部廃止、 バス停の廃止(7)	
	河和田線	ルートの一部廃止、 バス停の追加(8)、廃止(2)	
③幹線	昼間便	廃止	
	通学便	廃止	

() : 個所数

① つつじバス 循環線

■ 循環線

- ・ 本路線は、市街地中央部に集積する生活関連施設を循環する路線として、利便性向上を図ります。
- ・ 一部ルートを変更し、福井鉄道福武線の水落駅に接続

■ 旧・新の計画内容

路線名		つつじバス 循環線
旧	運行形態	一般乗合旅客運送
	運行経路	J R鯖江駅、西鯖江駅前、禰陽会館、西山公園、市役所、鯖江郵便局、公立丹南病院、神明公民館、神明駅、神明苑、アル・プラザ鯖江、アイアイ鯖江 (文化の館)、長泉寺、J R鯖江駅
	キロ程	10.85 km
	運行本数	平日 19 便、土日祝日：11 便
新	運行形態	一般乗合旅客運送
	運行経路	J R鯖江駅、西鯖江駅前、禰陽会館、西山公園、市役所、水落駅、公立丹南病院、神明公民館、神明駅、神明苑、アル・プラザ鯖江、アイアイ鯖江 (文化の館)、長泉寺、J R鯖江駅
	キロ程	11.80 km
	運行本数	平日 20 便、土日祝日：16.5 便



■ つつじバス 循環線の旧・新ルート

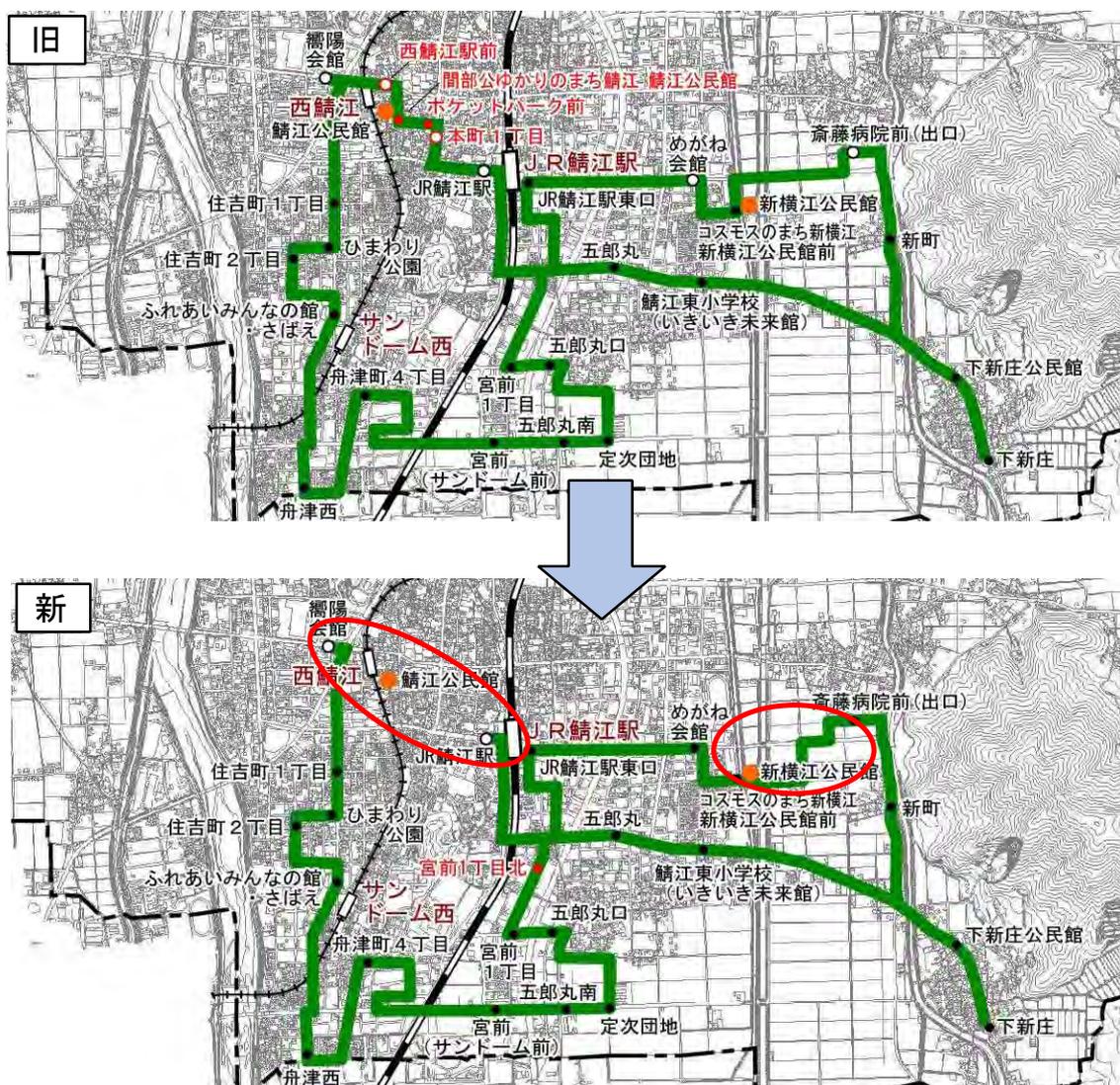
② つつじバス 支線

■ 鯖江南・新横江線

- ・本路線は、市域南部の集落を巡回し、主要乗継拠点である JR 鯖江駅に接続する路線で、利用実績に応じた効率化と日常の生活交通としての機能強化を図ります。
- ・利用実績に応じて、一部区間を廃止（JR 鯖江駅－鯖江公民館－嚮陽会館）

■ 旧・新の計画内容

路線名		つつじバス 支線（鯖江南・新横江線）
旧	運行形態	一般乗合旅客運送
	運行経路	嚮陽会館、舟津西、宮前、JR 鯖江駅東口、新横江公民館前、下新庄、JR 鯖江駅、 鯖江公民館 、 西鯖江駅 、 嚮陽会館
	キロ程	13.4 km
	運行本数	平日 4 便、土日祝日：3 便
新	運行形態	一般乗合旅客運送
	運行経路	嚮陽会館、舟津西、宮前、JR 鯖江駅東口、新横江公民館前、下新庄、JR 鯖江駅
	キロ程	13.8 km
	運行本数	平日 4 便、土日祝日：3 便



■ つつじバス 支線（鯖江南・新横江線）の旧・新ルート

■ 神明線

- ・ 本路線は、市域北部の神明地区集落を巡回し、主要乗継拠点である福井鉄道神明駅に接続する路線です。
- ・ 運行経路の変更なし
- ・ 土日祝日の運行運行を増便（3便→4便）

■ 旧・新の計画内容

路線名		つつじバス 支線（神明線）
運行形態		一般乗合旅客運送
運行経路		公立丹南病院、神明公民館、神明駅、東米岡、東鳥羽、神中町3丁目、JR北鯖江駅西口、水落町3丁目、神明苑、公立丹南病院
キロ程	旧	12.85 km
	新	14.85 km
運行本数	旧	平日5便、土日祝日：3便
	新	平日5便、土日祝日：4便



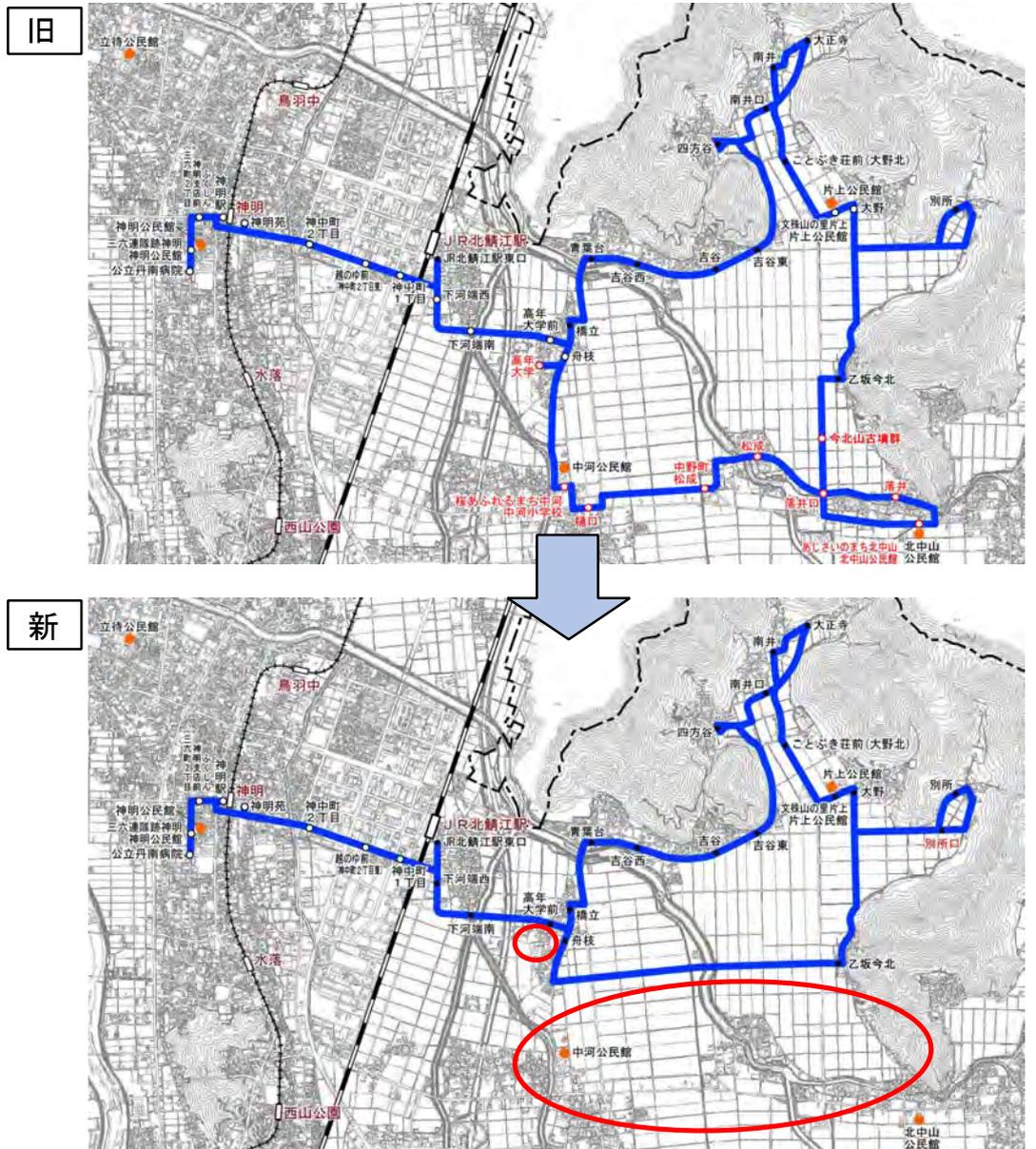
■ つつじバス 支線（神明線）の旧・新ルート

■ 片上・中河線（旧路線名：片上・北中山線）

- ・本路線は、市域東部の片上地区、中河地区の集落を巡回し、主要乗継拠点である福井鉄道神明駅に接続する路線で、利用実績に応じた効率化と日常の生活交通としての機能強化を図ります。あわせて路線名を変更
- ・利用実績に応じて、一部区間を廃止（中河小学校－北中山公民館－今北山古墳群）
- ・上記に伴い、運行時間の短縮（61分→51分）

■ 旧・新の計画内容

路線名		つつじバス 支線（片上・中河線）
旧	運行形態	一般乗合旅客運送
	運行経路	公立丹南病院、神明公民館、神明駅、神明苑、J R北鯖江駅東口、片上公民館、北中山公民館、中河小学校、高年大学、公立丹南病院
	キロ程	24.7 km
	運行本数	平日 8 便、土日祝日：3 便
新	運行形態	一般乗合旅客運送
	運行経路	公立丹南病院、神明公民館、神明駅、神明苑、J R北鯖江駅東口、片上公民館、高年大学前、公立丹南病院
	キロ程	21.25 km
	運行本数	平日 5 便、土日祝日：4 便



■ つつじバス 支線（片上・中河線）の旧・新ルート

■ 立待線

- ・ 本路線は、市域西部の立待地区の集落を巡回し、主要乗継拠点である福井鉄道神明駅に接続する路線です。
- ・ 運行経路の変更なし
- ・ 土日祝日の運行運行を増便（3便→4便）

■ 旧・新の計画内容

路線名	つつじバス 支線（立待線）	
運行形態	一般乗合旅客運送	
運行経路	神明苑、神明駅、神明公民館、公立丹南病院、石田中、平和台団地、立待公民館、杉本、公立丹南病院、神明苑	
キロ程	12.55 (13.6) km	
運行本数	旧	平日 5 便、土日祝日：3 便
	新	平日 5 便、土日祝日：4 便



■ つつじバス 支線（立待線）のルート

■吉川線

- ・本路線は、市域西部の吉川地区の集落を巡回し、主要乗継拠点である福井鉄道神明駅に接続する路線で、利用実績に応じた効率化と日常の生活交通としての機能強化を図ります。
- ・利用実績に応じて、一部区間を廃止（小泉団地－西公園前－石田中－小泉：立待線との重複区間）
- ・豊線のルート変更に伴うルート追加：運行時間（41分→48分）

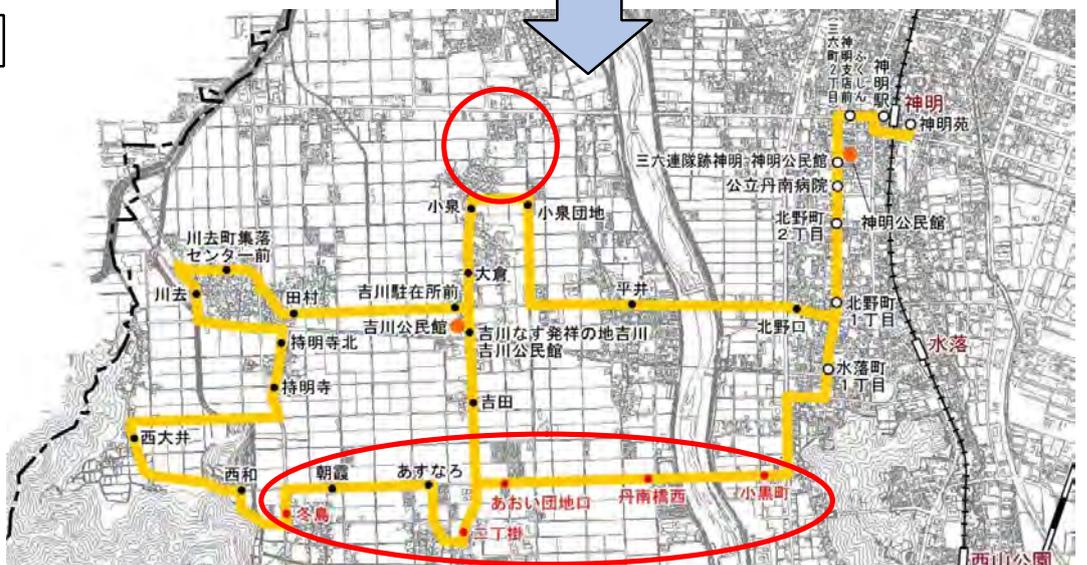
■旧・新の計画内容

路線名		つつじバス 支線（吉川線）
旧	運行形態	一般乗合旅客運送
	運行経路	神明苑、神明駅、神明公民館、公立丹南病院、吉川公民館、西大井、川去、大倉、石田中、平井、公立丹南病院、神明駅、神明苑
	キロ程	15.4 km
	運行本数	平日6便、土日祝日：3便
新	運行形態	一般乗合旅客運送
	運行経路	神明苑、神明駅、神明公民館、公立丹南病院、吉川公民館、川去、西大井、二丁掛、大倉、平井、公立丹南病院、神明駅、神明苑
	キロ程	17.8 km
	運行本数	平日6便、土日祝日：5便

旧



新



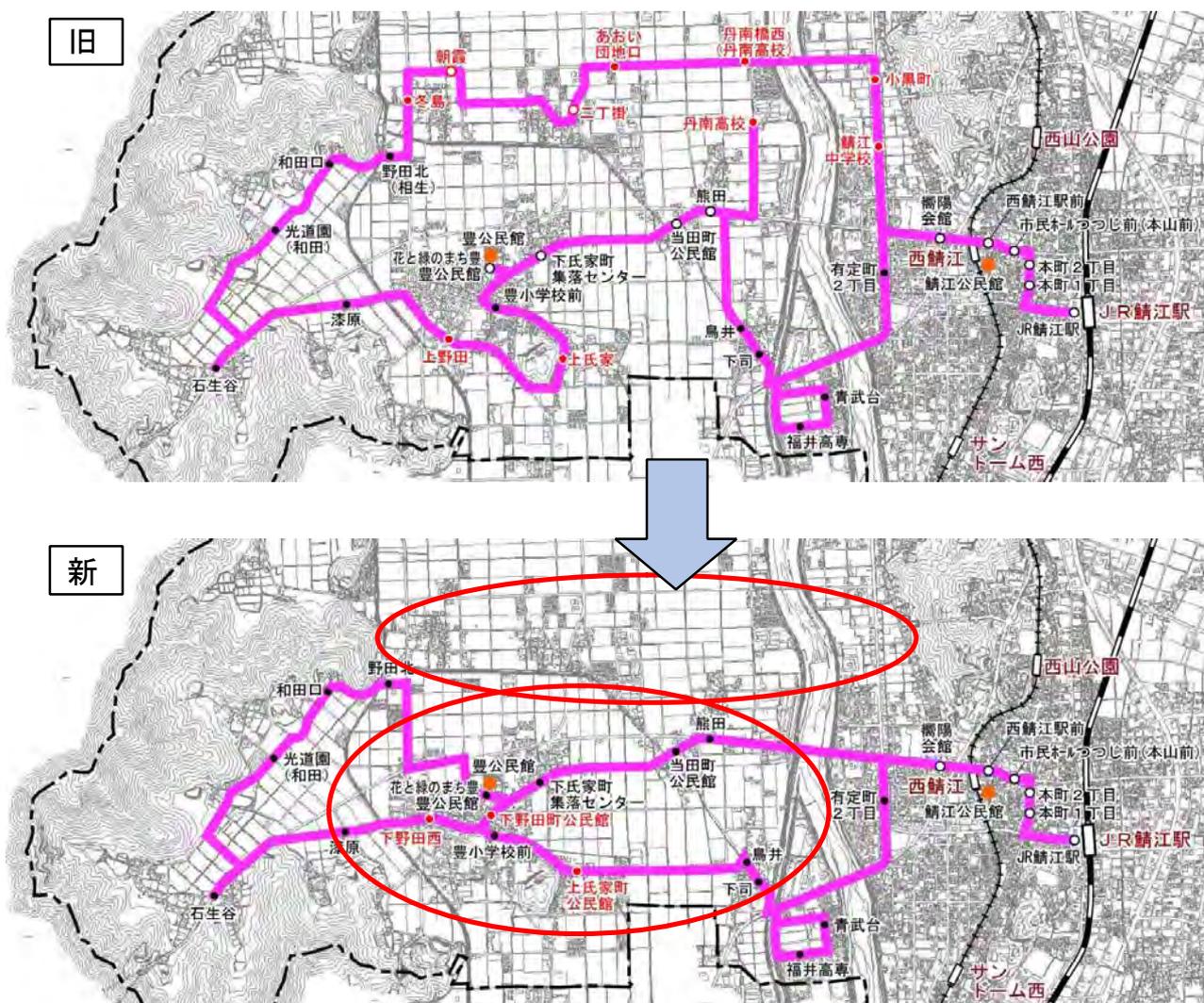
■つつじバス 支線（吉川線）の旧・新ルート

■ 豊線

- ・本路線は、市域西部の豊地区の集落を巡回し、主要乗継拠点であるJR鯖江駅に接続する路線で、利用実績に応じた効率化と日常の生活交通としての機能強化を図ります。
- ・利用実績に応じて、一部区間を廃止（丹南高校接続区間、冬島－丹南橋西－小黒町：吉川線へ移行）
- ・豊線のルート変更に伴い、運行時間の短縮（53分→45分）

■ 旧・新の計画内容

路線名		つつじバス 支線（豊線）
旧	運行形態	一般乗合旅客運送
	運行経路	JR鯖江駅、西鯖江駅前、禰陽会館、丹南高校、福井高専、豊公民館、石生谷、朝霞、小黒町、禰陽会館、JR鯖江駅
	キロ程	16.75 km
	運行本数	平日 5 便、土日祝日：3 便
新	運行形態	一般乗合旅客運送
	運行経路	JR鯖江駅、西鯖江駅前、禰陽会館、福井高専、豊公民館、石生谷、下野田西、熊田、禰陽会館、JR鯖江駅
	キロ程	15.0 km
	運行本数	平日 6 便、土日祝日：4 便



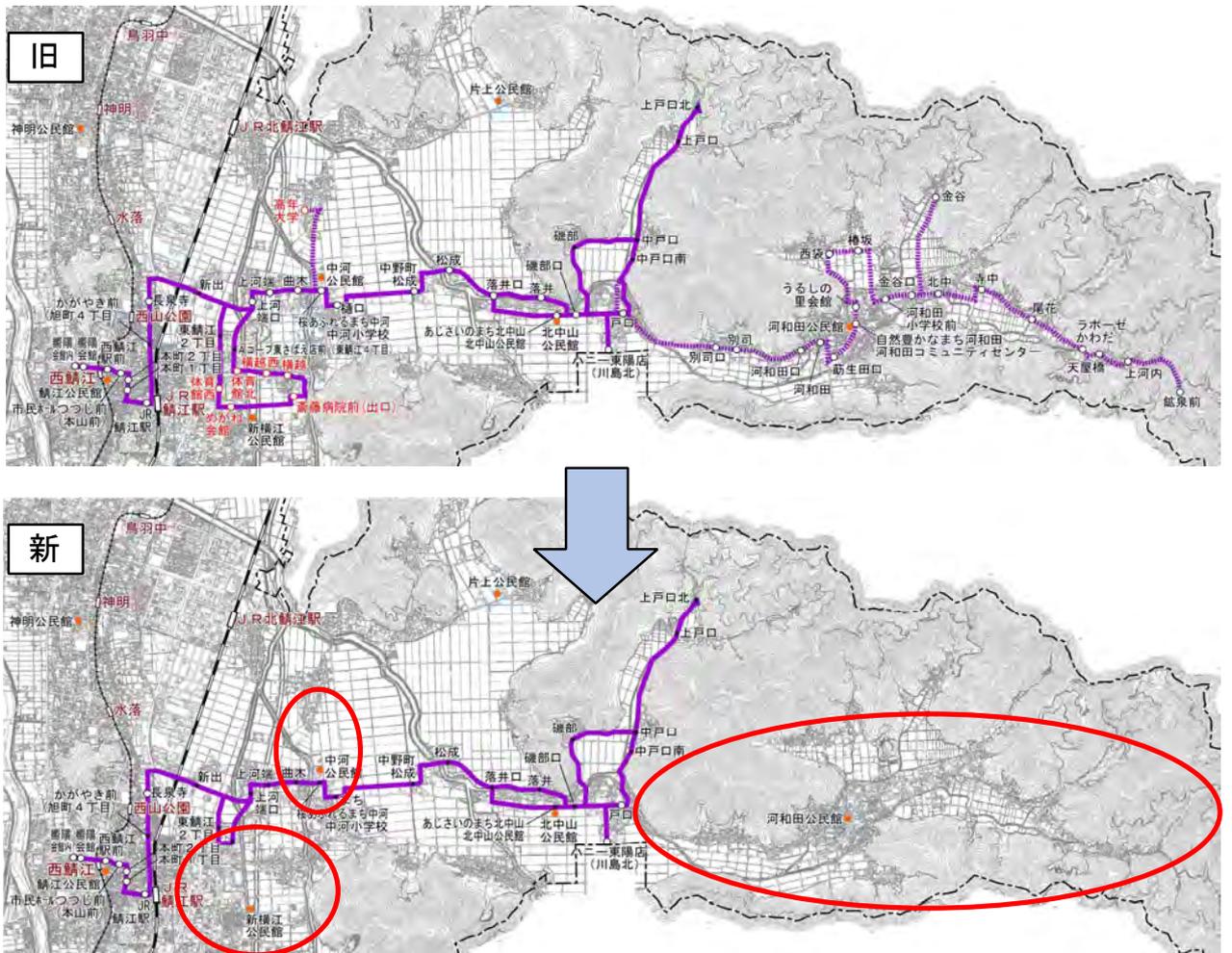
■ つつじバス 支線（豊線）の旧・新ルート

■北中山・中河線（旧路線名：中河・北中山線）

- ・本路線は、市域東部の北中山地区、中河地区の集落を巡回し、主要乗継拠点であるJR鯖江駅に接続する路線で、利用実績に応じた効率化と日常の生活交通としての機能強化を図ります。あわせて路線名を変更
- ・利用実績に応じて、一部区間を廃止（Aコープ東さばえ店前－東鯖江2丁目（河和田線及び鯖江南・新横江線との重複区間））

■旧・新の計画内容

路線名		つつじバス 支線（北中山・中河線）
旧	運行形態	一般乗合旅客運送
	運行経路	禰陽会館、西鯖江駅前、JR鯖江駅、長泉寺、東鯖江2丁目、めがね会館、斎藤病院前、中河小学校前、北中山公民館、磯部、上戸口北、ハニー東陽店
	キロ程	15.9 km
	運行本数	平日5便、土日祝日：3便
新	運行形態	一般乗合旅客運送
	運行経路	禰陽会館、西鯖江駅前、JR鯖江駅、長泉寺、東鯖江2丁目、中河小学校前、北中山公民館、磯部、上戸口北、ハニー東陽店
	キロ程	15.85 km
	運行本数	平日8便、土日祝日：7便



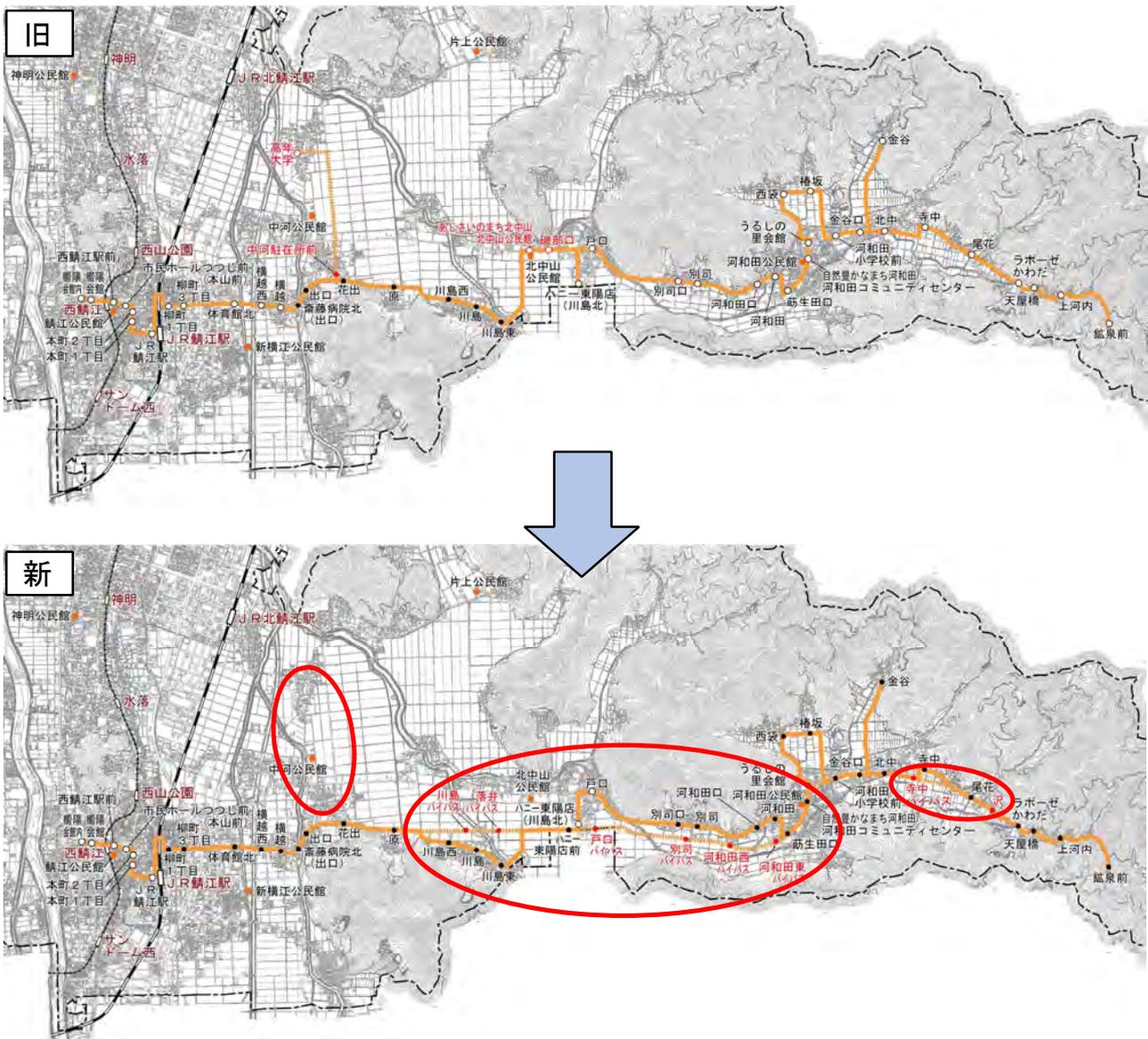
■つつじバス 支線（北中山・中河線）の旧・新ルート

■河和田線

- ・本路線は、市域東部の河和田地区の集落を巡回し、主要乗継拠点であるJR鯖江駅に接続する路線で、速達性の向上と日常の生活交通としての機能強化を図ります。
- ・速達便によるバイパス区間を新設（時間短縮：44分→27分）

■旧・新の計画内容

路線名		つつじバス 支線（河和田線）
旧	運行形態	一般乗合旅客運送
	運行経路	嚮陽会館、西鯖江駅前、JR鯖江駅、横越、川島、北中山公民館、河和田コミュニティセンター、うるしの里会館、ラポーゼかわだ、鉾泉前
	キロ程	19.85 km
	運行本数	平日7便、土日祝日：3便
新	運行形態	一般乗合旅客運送
	運行経路	嚮陽会館、西鯖江駅前、JR鯖江駅、横越、川島、ハニー東陽店、河和田コミュニティセンター、うるしの里会館、ラポーゼかわだ、鉾泉前
	キロ程	20.5 km
	運行本数	平日15便、土日祝日：12便



■つつじバス 支線（河和田線）の旧・新ルート

(2) 運行回数、運行時刻の変更

つつじバスの再編・運行の実施にあわせて、循環線のパターンダイヤの導入、各路線の土日祝日運行便数の増加を行うとともに、JR北陸本線、福井鉄道福武線、福鉄バスの幹線交通との乗り継ぎ、つつじバス相互の乗り継ぎを改善し、利便性向上を図ります。

項 目	事業内容	実施主体
つつじバスのダイヤ変更		
循環線	<ul style="list-style-type: none"> ・定時刻発運行（パターンダイヤ） 鯖江駅：右回り、左回りとも毎時00分発（1便/時） 神明駅：右回り 毎時32分発（1便/時） 左回り 毎時28分発（1便/時） （平日：8時～18時。土日祝日：9時～17時） ・増便による利便性向上（平日：19便 → 20便） ・土日祝日の運行本数の拡充（11便 → 16.5便） 	鯖江市、つつじバス運行事業者
鯖江南・新横江線	・変更なし	
神明線	・土日祝日の運行本数の拡充（3便 → 4便）	
片上・中河線	・土日祝日の運行本数の拡充（3便 → 4便）	
立待線	・土日祝日の運行本数の拡充（3便 → 4便）	
吉川線	・土日祝日の運行本数の拡充（3便 → 5便）	
豊線	・土日祝日の運行本数の拡充（3便 → 4便）	
北中山・中河線	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤ調整による沿線の商業施設での買い物時間の確保 ・土日祝日の運行本数の拡充（6便 → 7便） 	
河和田線	<ul style="list-style-type: none"> ・増便による利便性向上（平日：10便 → 15便） ・土日祝日の運行本数の拡充（6便 → 12便） 	

<循環線 パターンダイヤ>

系 統		運行パターン	
		平 日	休 日
系統番号1 (右回り)	旧	8便/日：最大待ち時間165分	5便/日：最大待ち時間103分
	新	11便/日（1便/時）、最大待ち時間60分	8.5便/日（1便/時）、最大待ち時間60分
系統番号2 (左回り)	旧	11便/日：最大待ち時間152分	6便/日：最大待ち時間105分
	新	9便/日（1便/時）、最大待ち時間60分	8便/日（1便/時）、最大待ち時間60分

(3) その他の事業

本市では、市民をはじめ本市への来訪者が日常生活や観光、ビジネスにおいて、公共交通を利用することで必要な移動を行うことができる交通環境の実現に向けて、鉄道、路線バスによる幹線交通やつつじバスの見直し、各種関連施策を実施しています。

また、新型コロナウイルス感染症拡大による生活行動への影響によって公共交通利用者が大幅に減少しており、新しい生活様式に対応した公共交通サービスの提供が求められています。

これらに対応するため、以下の事業を本計画に位置づけます。

項目（対象事業）	事業内容	実施主体
つつじバス車両の更新	つつじバスの運行車両の老朽化による安全性や快適性の低下に対応するための車両の更新	鯖江市
主要乗継拠点でのつつじバス情報案内の設置	主要乗継拠点であるJR鯖江駅、福井鉄道神明駅において、つつじバスの運行経路や運行時刻、乗継情報、観光施設等に関する情報案内を設置	
つつじバスのリアルタイム位置情報表示「バスどこサービス」の継続と利用環境の拡充	つつじバスのリアルタイム位置情報表示「バスどこサービス」の提供の継続 主要乗継拠点である福井鉄道神明駅での大型モニターを設置による「バスどこサービス」の利用環境の拡充	
つつじバスの利用料金割引制度の拡充（1日フリー乗車券の導入）	つつじバスの利用料金割引制度の充実として、つつじバスの1日フリー乗車券の導入	
バス停表示看板のデザイン更新	鯖江市の動物シンボルとして定められた「レッサーパンダ」のキャラクターを活用したバス停デザインの更新	

3. 利便増進事業に関連して実施する事業

利便増進事業に関連して実施する事業は、以下のとおりです。

事業内容	実施主体
<p><つつじバス利用促進></p> <ul style="list-style-type: none">・つつじバスの乗り方や乗り継ぎについての出前講座やバス車内の掲示スペースをギャラリースペースとして利用するなどして利用促進活動を実施	<p>鯖江市</p>

4. 地方公共団体による支援の内容

利便増進事業および利便増進事業に関連して実施する事業に関する本市の支援内容は、以下のとおりです。

支援内容	<ul style="list-style-type: none">・ 運行費補助（鯖浦線）・ 主要バス停における上屋設置等の待合環境整備・ 主要乗継拠点でのつつじバス情報案内の設置・ 公共交通とまちづくりに関する意識啓発と利用促進
------	---

5. 実施予定期間

利便増進事業および利便増進事業に関連して実施する事業の実施予定期間は、以下のとおりです。

予定期間	令和4年度（2022年度）～令和8年度（2026年度）
------	-----------------------------

（1）路線の再編

項目	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
つつじバスの再編・運行					
循環線	再編・運行		継続	運行	
鯖江南・新横江線	再編・運行		継続	運行	
神明線	再編・運行		継続	運行	
片上・北中山線	再編・運行		継続	運行	
立待線			継続	運行	
吉川線	再編・運行		継続	運行	
豊線	再編・運行		継続	運行	
中河・北中山線	再編・運行		継続	運行	
河和田線	再編・運行		継続	運行	
幹線（昼間便）	廃止				
幹線（通学便）	廃止				

（2）運行回数・運行時刻の変更

項目	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
つつじバスの再編・運行					
循環線	変更・運行		継続	運行	
鯖江南・新横江線	変更・運行		継続	運行	
神明線	変更・運行		継続	運行	
片上・中河線	変更・運行		継続	運行	
立待線	変更・運行		継続	運行	
吉川線	変更・運行		継続	運行	
豊線	変更・運行		継続	運行	
北中山・中河線	変更・運行		継続	運行	
河和田線	変更・運行		継続	運行	

(3) その他の事業

項 目	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
多様な輸送資源の活用の検討			検 討		
主要バス停の待合環境の整備			継 続		
主要乗継拠点でのつつじバス情報案内の設置			継 続		
運行事業の安定化に向けた企業広告等の推進			継 続		
障がい者、運転免許自主返納者等へのつつじバス利用者無料証の交付			継 続		
キャッシュレス決済の導入検討			検 討		
つつじバスのフリー乗降制の検討			検 討		
つつじバスの利用料金割引制度（乗継割引、福井鉄道「ハッピー1日フリー乗車券」との乗継割引、回数券）			継 続		
商店街との連携によるつつじバス乗車券の交付			継 続		
観光施設等との連携によるつつじバス乗車券の交付			検 討		
バス車内への観光パンフレットの設置			継 続		
つつじバス車内を利用した観光案内			継 続		
SNSを利用した情報発信	検 討		実 施		
公共交通乗務員の接遇向上			継 続		
公共交通とまちづくりの関する意識啓発と利用促進			継 続		
つつじバス利用促進			継 続		

6. 事業実施に必要な資金の額・調達方法

利便増進事業および利便増進事業に関連して実施する事業の実施に必要な資金の額および調達方法について、以下のように設定します。

(1) 路線の再編、運行回数・運行時刻の変更

つつじバスの路線の変更、廃止等による再編に関する事業の資金調達は、つつじバスが市営コミュニティバスであることから鯖江市の財源によって実施します。

項目	路線ごと 運行距離 (km)	事業費 (千円/年)		調達方法		実施年度
		総事業費	内訳	調達主体	補助金等	
つつじバスの再編・運行	364,796.6	99,089	99,089			
循環線	78,401.2	21,296	10,993	鯖江市	—	令和4年度 (2022年度) ～令和8年度 (2026年度)
			10,303		国・県補助	
鯖江南・新横江線	18,271.2	4,963	3,861		—	
			1,102		県補助	
神明線	24,645.0	6,694	3,455		—	
			3,239		国・県補助	
片上・中河線	35,317.0	9,593	4,951		—	
			4,642		国・県補助	
立待線	22,223.4	6,036	3,115		—	
			2,921		国・県補助	
吉川線	35,403.2	9,617	4,964		—	
			4,653		国・県補助	
豊線	26,089.6	7,087	5,514		—	
			1,573		県補助	
北中山・中河線	44,696.0	12,141	9,445	—		
			2,696	県補助		
河和田線	79,750.0	21,662	16,852	—		
			4,810	県補助		

※国・県補助金について

国：地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）

県：福井県生活バス路線維持対策事業補助金（市町生活交通維持支援事業補助金）

福井鉄道(株)による路線バスの運行に関する事業の資金調達は、基本的に民間事業者の経常収益の一部を活用して実施します。

項目	路線ごと 運行距離 (km)	事業費 (千円/年)		調達方法		実施年度
		総事業費	内訳	調達主体	補助金等	
鯖浦線	142,191.6	58,247,637	58,247,367			
鯖浦線 (かれい崎)	59,443.2	24,350,312	6,020,761	福井鉄道 (株)	—	令和4年度 (2022年度) ～令和8年度 (2026年度)
			4,530,000		国・県補助	
			2,334,773		鯖江市補助	
			11,464,778		越前町補助	
鯖浦線 (織田崎)	82,748.4	33,897,055	12,219,744	福井鉄道 (株)	—	令和4年度 (2022年度) ～令和8年度 (2026年度)
			8,034,000		国・県補助	
			4,238,699		鯖江市補助	
			9,404,612		越前町補助	

※国・県補助金について

国：地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域間幹線系統確保維持費国庫補助金）

県：福井県生活バス路線維持対策事業補助金（広域生活バス路線維持対策事業補助金）

7. 事業の効果

鯖江市地域公共交通計画における目標の達成に向けて、利便増進事業及び利便増進事業に関連して実施する事業の効果を整理します。

(1) 路線の再編

項 目	事業の効果
つつじバスの再編・運行	
循環線	<ul style="list-style-type: none"> ・主要乗継拠点及び市街地中央部の主要施設へのアクセス利便性向上 →福井鉄道福武線水落駅にバス停を新設し、福武線との乗継利便性向上によって公共交通の選択制が改善され、利用者数の増加が期待できる。
鯖江南・新横江線	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回ルートの短縮による速達性の向上、運送コストの効率化 →当該路線の利用状況を踏まえ、利用者数が少ない区間を廃止することで速達性の向上、運送コストの効率化が期待できる。 →運行ルートの廃止区間は、つつじバス他路線（循環線、豊線、北中山・中河線、河和田線）の運行ルートと重複する区間であり、沿線市民の利便低下はない。
神明線	<ul style="list-style-type: none"> ・変更なし
片上・中河線	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回ルートの短縮による速達性の向上、運送コストの効率化 →隣接地区間（片上地区、北中山地区）の移動を確保するため、北中山公民館を含むルートで運行したが、利用者数が少なく、運行時間の短縮を求める利用者意向を踏まえ、ルートを短縮し、速達性の向上、運送コストの効率化を図る。 →運行ルートの廃止区間は、つつじバス他路線（北中山・中河線）の運行ルートと重複する区間であり、沿線市民の利便低下はない。
立待線	<ul style="list-style-type: none"> ・変更なし
吉川線	<ul style="list-style-type: none"> ・立待線との重複区間の廃止、豊線の見直しに伴う巡回ルートの追加による運送コストの効率化 →隣接地区間（立待地区、吉川地区）の移動を確保するため、立待線との重複区間を設定して運行したが、利用者数が少ないことからルートを短縮し、速達性の向上、運送コストの効率化を図る。 →同様に、隣接地区間（吉川地区、豊地区）の移動についても、豊線の見直しとあわせてルートを変更する。 →運行ルートの廃止区間は、つつじバス他路線（立待線）の運行ルートと重複する区間であり、沿線市民の利便低下はない。
豊線	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回ルートの短縮による速達性の向上、運送コストの効率化 →隣接地区間（吉川区、豊地区）の移動を確保するため、吉川線との重複区間を設定して運行したが、利用者数が少ないこと、及び丹南高校が閉校になることを踏まえ、ルートを見直し、速達性の向上、運送コストの効率化を図る。 →運行ルートの廃止区間は、つつじバス他路線（吉川線）の変更によって対応するため、沿線市民の利便低下はない。
北中山・中河線	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回ルートの短縮による速達性の向上、運送コストの効率化 →運行時間の短縮を求める利用者意向を踏まえ、ルートを短縮し、速達性の向上、運送コストの効率化を図る。 →運行ルートの廃止区間は、つつじバス他路線（鯖江南・新横江線、河和田線）の運行ルートと重複する区間であり、沿線市民の利便低下はない。
河和田線	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回ルートの短縮による速達性の向上 →運行時間の短縮を求める利用者意向を踏まえ、バイパスルートを設定し、速達性の向上を図る。

項 目		事業の効果
幹線	昼間便	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止による運送コストの効率化 →日常利用だけでなく、観光・ビジネス需要を見込んで市域全体を循環する路線を運行したが、利用者数が少なく、今後も利用者ニーズの創出が期待できないことから廃止し、運送コストの効率化を図る。 →路線廃止に伴う廃止バス停はなく、その他のつつじバスの運行により沿線市民の利便低下はない。
	通学便	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止による運送コストの効率化 →通学時間帯における高校生の通学環境として、市内高校及び主要乗継拠点を連絡する路線を運行したが、利用者が少なく、運行2年目には通年運行から冬期みの運行に変更し、輸送コストの効率化を図ったが、利用者数の増加が期待できないこと、丹南高校が閉校になることから廃止し、運送コストの効率化を図る。 →路線廃止に伴う廃止バス停はなく、その他のつつじバスの運行により沿線市民の利便低下はない。

(2) 運行回数・運行時刻の変更

項 目		事業の効果
つつじバスのダイヤ変更		
循環線	<ul style="list-style-type: none"> ・パターンダイヤの導入（循環線）、土日祝日の増便による利便性向上 ・利用者の確保・維持 ・収支の改善 	
鯖江南・新横江線		
神明線		
片上・中河線		
立待線		
吉川線		
豊線		
北中山・中河線		
河和田線		

(3) その他の事業

項 目	事業の効果
つつじバス車両の更新	<ul style="list-style-type: none"> ・利用環境の改善 ・利用者の確保・維持
主要乗継拠点でのつつじバス情報案内の設置	
つつじバスのリアルタイム位置情報表示「バスどこサービス」の継続と利用環境の拡充	
つつじバスの利用料金割引制度の拡充（1日フリー乗車券の導入）	
バス停表示看板のデザイン更新	

■ 鯖江市地域公共交通計画における目標（関連指標のみ）

目標 1	多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現
------	----------------------

- ・幹線交通と二次交通網のネットワーク化に向けた福鉄バス、つつじバスの運行経路、時間帯の見直しなどにより、速達性の向上、日常の生活交通に対応する公共交通の実現を目指します。

指 標	現況値	目標値
つつじバス年間利用者数	14.3 万人 (平成 30 年度)	17 万人 (令和 8 年度)
利用者一人当たり公的資金投入額	552 円/人 (平成 30 年度)	540 円/人 (令和 8 年度)

目標 2	まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現
------	-----------------------------

- ・主要乗継拠点をはじめ主要な駅やバス停での待合環境の整備などの施策により、人口や都市機能の集積を図るための施策と一体的な公共交通の利用環境の向上を図り、まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現を目指します。

指 標	現況値	目標値
公共交通が充実していると 感じている人の割合	58.7% (令和元年度)	80% (令和 8 年度)
公共交通集落カバー率 (鉄道、路線バス、コミュニティバス)	95% (令和 3 年度)	97% (令和 8 年度)

8. 都市機能の増進に必要な立地の適正化等に関する施策

都市機能の増進に必要な立地の適正化、観光の振興、その他関連する施策は、以下のとおりです。

事業内容	実施主体
J R 鯖江駅東口改札の設置および周辺整備に向けた取り組み	鯖江市、福井県、 J R 西日本(株) (福井県並行 在来線準備(株))

9. その他利便増進事業の運営に重大な関係を有する事項

その他利便増進事業の運営に重大な関係を有する事項は、以下のとおりです。

事業内容	実施主体
北陸新幹線敦賀開業、J R 北陸本線の並行在来線への移行	(独) 鉄道建設・運輸施設 整備支援機構、福井県並行在来 線準備(株)